

令和7年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体	IFMSA-Japan SCORA(国際医学生連盟 日本 性と生殖に関する健康と権利・HIV/AIDSに関する委員会)
実施事業名	STI Prevention Project
団体代表者	代表: 相場奏(令和8年度)、越智美則(令和7年度) SCORA責任者: 宮島萌(令和8年度)、白須桜花(令和7年度)
事業の目的	本事業は、未来の医療を担う医療系学生を対象に、HIV/AIDSをはじめとする性感染症(STI)について、教科書的な知識だけではなく、社会的背景や当事者が直面する課題等も含めた、実践的・経験的な知識を深め、主体的に考える機会を提供することを目的としています。また、STIの主要な罹患年齢層である若年層の一員として、参加学生自身がSTI予防に関する理解を深めるとともに、同世代の友人や周囲の若者に向けた啓発活動を行い、自らも日常の中で予防行動を実践することを通じて、若年層全体の予防意識の向上を図ります。
事業の達成度	今年度は、対面およびオンラインの双方で活動を実施し、HIV/AIDSや性感染症に関する学習機会の提供と対外的な啓発活動の推進に取り組みました。 講演会や総会、出張授業などを通じて、基礎知識の普及および理解の深化という点においては、参加者アンケートにおいて高い満足度や理解度の向上が示されており、一定の成果を上げることができたと考えられます。また、レッドリボントークライブや展示への参加を通じて、学内外への情報発信という観点でも活動の幅を広げることができました。 一方で、アンケート結果からは、学習の必要性は認識されており、知識の定着は見られたものの、行動変容にまでは十分に至っていない可能性も示唆されました。また、SNS等を通じた継続的な情報発信や、参加型ワークショップの実施については課題が残る結果となりました。 以上より、本事業は学習機会の提供および啓発活動の実施という点では概ね達成された一方で、行動変容の促進、発信力の強化といった点においては今後の課題が残ると評価しております。
事業実績	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 苫小牧ピア・エデュケーション 延べ約120名</li> <li>2. IFMSA-Japan 新入生歓迎会 延べ約190名</li> <li>3. レッドリボントークライブへの出演 視聴人数不明</li> <li>4. 東京レインボープライドへの参加 延べ10名</li> <li>5. いだてんクリニックコラボ 対談会 延べ23名</li> <li>6. 思春期学会 学術集会への参加/報告会 延べ4名/延べ16名</li> <li>7. さっぽろレインボープライドへの参加 延べ約300名(一般参加者含む)</li> <li>8. 手稲ピア・エデュケーション 延べ40名</li> <li>9. ゆずりは学園ピア・エデュケーション 延べ約50名</li> <li>10. いだてんクリニックコラボ 座談会 延べ12名</li> <li>11. SCORAngelsの集い 延べ18名</li> <li>12. 大三島ピア・エデュケーション 延べ約30名</li> <li>13. 月寒ピア・エデュケーション 延べ40名</li> <li>14. 文京区レッドリボン展への参加 延べ約680名(一般参加者含む)</li> <li>15. 末吉中学校ピア・エデュケーション 延べ約340名</li> <li>16. SCORA総会 延べ37名</li> <li>17. 伊勢原高校ピア・エデュケーション 延べ約250名</li> <li>18. ピア・エデュケーション報告会 延べ15名</li> <li>19. 団体Staffの知識・意識調査 第1回: 延べ79名/第2回: 延べ19名</li> </ol>
	対象となった人数(実数)

事業実績	具体的な活動内容	<p>1. 苫小牧ピア・エデュケーション  実施日：2025年4月  苫小牧工業高等専門学校の生徒を対象に、性の多様性、デートDV、ピル、コンドーム、性感染症をテーマとした講演を実施しました。前年と同様、事前に作成した講演映像を提供するオンデマンド形式を採用し、多くの生徒に視聴いただきました。</p> <p>2. IFMSA-Japan 新入生歓迎会  実施日：2025年5～6月  医療系学生となったばかりの新入生に対し、HIV/AIDSをはじめとした性感染症や性に関するテーマに触れる機会を作り、関心を持っていただきました。また、STI Prevention Projectの活動紹介を行い、SCORA Staffの新規参加につなげることで、団体内の活動基盤の強化にも繋がりました。</p> <p>3. レッドリボントークライブ2025への出演  実施日：2025年5月31日  厚生労働省主催のレッドリボントークライブに出演し、団体の活動紹介を行いました。HIV/AIDS検査の普及等に取り組む他団体との情報共有の機会ともなりました。</p> <p>4. TOKYO PRIDE 2025への参加  実施日：2025年6月7日・8日  TOKYO PRIDEに参加し、ブース見学やパレードへの参加を通じて、多様な性のあり方について学びました。また、出展団体との交流を通して、HIV/AIDSを取り巻く社会状況について理解を深めました。加えて、6月のプライド月間に合わせ、SNSを通じた性の多様性等に関する情報発信も行いました。</p> <p>5. いだてんクリニックコラボ対談会  実施日：2025年6月10日  セクシュアルヘルスを専門とする医師を招き、HIVの最新治療や性感染症診療、今後医療者に求められる視点などについて講演いただきました。後半には座談会を実施し、参加者との双方向的な対話が行われました。</p> <p>6. 第44回 日本思春期学会 学術集会への参加／報告会  実施日：2025年8月30日・31日／11月4日  『第44回日本思春期学会総会・学術集会』に参加し、思春期に関する最新の研究や支援体制について学びました。特に、デジタル世代と性感染症の関係についての知見を得ました。また、後日報告会を開催し、学術集会で得た知見を団体内で共有することで、参加者の理解の深化および今後の活動への還元を図りました。</p> <p>7. さっぽろレインボープライド2025への参加  実施日：2025年9月13日・14日  さっぽろレインボープライド2025に参加し、ブースを出展しました。一般市民に向けてSCORAの活動紹介を行うとともに、性感染症に関する啓発を実施しました。メッセージカード(各種200枚)、コンドーム約300個、活動紹介チラシ約400枚を配布し、予防方法の認知向上に寄与しました。また、来場者からのメッセージ募集を通じて、性感染症を社会的なテーマとして捉える機会を創出しました。</p> <p>8. 手稲ピア・エデュケーション  実施日：2025年9月24日  手稲西中学校の生徒を対象に、二次性徴、避妊、思春期の精神発達、バウンダリーの概念、性感染症について講演を実施しました。クイズや問いかけを取り入れ、参加型の授業を意識しました。</p> <p>9. ゆずりは学園ピア・エデュケーション  実施日：2025年10月18日  性感染症、避妊、人権、多様性をテーマに講演を実施しました。コンドーム装着実習や体験型ワークを取り入れ、実践的な学習機会を提供しました。</p>
------	----------	---

事業実績

具体的な活動内容

10.いだてんクリニックコラボ座談会

実施日:2025年10月21日

6月実施のイベントと同様に、セクシュアルヘルスを専門とする医師をお招きしました。事前に参加者から質問を募り、それをもとにセクシュアルヘルスや性感染症について議論しました。患者対応における姿勢や言葉遣いについても学びを深めました。

11.SCORAngelsの集い

実施日:2025年11月15日

大阪にて対面で開催し、交流会および様々なテーマに関する勉強会を実施しました。性感染症をテーマとしたワークショップも行い、関西地域における活動の活性化につながりました。

12.大三島ピア・エデュケーション

実施日:2025年11月10日

今治北高校大三島分校の生徒を対象に、避妊および性感染症予防をテーマとした講義と実習を実施しました。事前・事後アンケートにより理解度の変化を評価し、参加者からは高い満足度が得られました。

13.月寒ピア・エデュケーション

実施日:2025年11月14日

札幌月寒高校の生徒を対象に、性感染症や避妊、性的同意など幅広いテーマについて講演を実施しました。実生活での対応を意識し、相談窓口の紹介なども行いました。

14.文京区レッドリボン展への参加

実施日:2025年12月2日・3日

展示解説のツアーガイドを担当し、幅広い世代に対してHIV/AIDSに関する知識や当事者の声を伝えました。ツアー参加者の98.3%が「理解が深まった」と回答しました。また、「若い世代から話を聞くことで身近に感じられた」「明るい表情や抑揚のある話し方が印象的だった」といった感想も寄せられ、伝え方の工夫が理解の促進につながったことが示唆されました。

15.末吉中学校ピア・エデュケーション

実施日:2025年2月26日

性的同意や性感染症をテーマに、ディスカッションやワークを中心とした参加型授業を実施しました。参加者からは、「ディスカッションの時間があって自分の考えを深めることができた」「これまで話しにくいと感じていたテーマについて、正しい知識を学ぶことができた」といった感想が寄せられました。

16.SCORA総会

実施日:2025年3月14日・15日

団体内イベントとして、年度末に対面で開催しており、性に関する多様なテーマについて意見交換を行いました。STI Prevention Projectでは、HIV/AIDSに関する基礎知識や差別・偏見、最新の治療法について共有し、参加者とともにレッドリボンにメッセージを記入しました。

17.伊勢原高校ピア・エデュケーション

実施日:2025年3月16日

思春期の身体の変化、多様な性、性行為、性感染症などをテーマに講演を実施しました。安心して学べる環境づくりを重視し、柔らかくわかりやすい表現を心がけました。「大学生が同じ目線で話してくれたことで内容を身近に感じることができ、学校での学びが健康にも直結していることに気づく貴重な機会となりました」といった感想が寄せられました。

18.ピア・エデュケーション報告会

実施日:2025年3月29日

団体内でピア・エデュケーションを行うStaff間での活動共有の場として実施しました。活動内容や準備過程、課題や今後の展望を共有することで、今後の活動の質の向上と連携強化を図りました。

19.団体Staffの知識・意識調査

実施期間:第1回:通年(新規参加者対象) / 第2回:年度末

新規参加者を対象に、通年でHIV/AIDSや性感染症に関する知識および関心の程度について調査を実施しました。調査項目には、基礎的な知識に加え、「U=U」や「Living Together」といった概念の認知度も含め、興味や理解の程度を把握しました。

また、年度末には、SCORAでの活動を通じた意識や知識の変化について調査を行いました。その結果、「HIV/AIDSに関する基礎知識」や「U=U」といった項目等で「言葉や意味を知ることができた」「自分の言葉で説明できるようになった」といった回答が多く見られ、活動を通じた知識の定着や理解の深化が示唆されました。

一方で、回答者数が限られていることから、今後は調査方法や回収率の向上についても検討していく必要があります。

活動の様子

※活動の様子、イベントまたは成果物などが分かる写真や説明書き、また団体ホームページ等のURLを掲載してください。

団体ホームページ: <https://ifmsa.jp/scora/>



さっぽろレインボープライドにてコンドーム等配布の様子



月寒高校でのピア・エデュケーションの様子



ゆずりは学園でのピア・エデュケーションでの水の交換ゲームの様子



文京区レッドリボン展でのツ



大三島ピア・エデュケーションでのコンドーム実習の様子



末吉中学校でのピア・エデュケー



SCORA総会にてHIV/AIDSについてのレクチャーを行っている様子